

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2025
SEPTEMBER

No. 147

Sat. 20th September
Tokyo Opera City Series

No. 734

Sat. 27th September
Subscription Concert

No. 102

Sun. 28th September
Kawasaki Subscription Concert

9



Jonathan Nott, Music Director



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ◆
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太樓
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

第1コンサートマスター	小川キティンブレブ
	景山昌太郎
	小林杏成
コンサートマスター	田尻 順

会 長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理 事	阿部武彦 辻 敏
	池辺晋一郎 永山 治
	伊藤美樹 夏野 剛
	大橋 博 南部 靖之
	コシジュンコ 福川伸次
	菅谷貴子 増岡聡一郎
	竹中平蔵 森 京子
監 事	寺西基之
	渡邊芳樹
評議員長	梅沢一彦
評議員	穴水 孝 金山茂人
	鷲海量明 星 久人
	片山泰輔 芳野まい
	加藤英輔
最高顧問	金山茂人
特別顧問	飯島延浩 福田紀彦
	草壁悟朗

1st Violins

○木村正貴
○堀内幸子
○森岡ゆりあ
○小川敦子
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
水谷有里
吉川万理

2nd Violins

○清水泰明
○服部亜矢子
○加藤まな
○福留史絵
河裾あずさ
小山あずさ
鈴木浩司
辻田薫り
阿部貢弓
坂井みどり
吉田みのり *

Violas

○青木篤子
○武生直子
○西村真紀
○多井千洋
○山廣みほ
新井瑞穂
小西応興
鈴木まり奈

Cellos

☆伊藤文嗣
■池沼 樹
○川井真由美
内山剛博
蟹江慶行 ●
樋口泰世
福岡茉莉子
渡邊ゆかり

Double Basses

■助川 龍
○コーディネーターズブーム
○北村一平
○久松ちず
安田修平
渡邊淳子
内岡沙月 *

Flutes

■相澤政宏
○竹山 愛

Flute & Piccolo

濱崎麻里子

Oboes

○荒 絵理子
○荒木良太
浦脇健太

Oboe & English horn

最上峰行

Clarinets

○エマニュエル・ヌヴー
○吉野亜希菜
近藤千花子

Bassoons

○福士マリ子
○福井 蔵
坂井由佳
前関祐紀

Horns

○上間善之
加藤智浩
白井有琳
藤田麻理絵

Trumpets

○澤田真人
○ローリー ディラン
野沢岳史 ●
松山 萌

Trombones

○大馬直人
○島塚心輔
住川佳祐

Bass Trombone

藤井良太

Tuba

近藤陽一

Timpani & Percussions

○清水 太
○山村雄大
武山芳史
網川淳美

Harp

渡辺沙羅

Librarians

林 知也
加藤幸子

Stage Managers

西岡理佐
山本 聡

楽団委員

井伊 準 ◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニアディレクター

藤原 真

編成局パーソネルマネージャー

謝名元 民

楽団委員

小西応興(議長)
浦脇健太(書記)
清水 太
鈴木浩司
網川淳美
最上峰行

事務局長

辻 敏

事務局

■尾木貴雄
□高瀬 緑
市川萌都
伊藤瑛海
榎 日向
小川博司
相原美砂
長久保宏太朗
三橋真琴
山田道子
■梶川純子
藤山保子 *
山本未央子 *

名譽団友
深江泰輔 ◆
三木晴雄 ◆

団 友

天野佳和
新井 汎
安藤史子
池田 肇
石川晴依世
今村和弘
岩澤淳子
上原正二
上原規照
上原未莉
内田彬雄
内田乃剛子
宇部 美
梅田 学
大隅雅人
大塚正昭
大室麻男
大和田浩明
大和田ルース
小川さえ子
萩野 昇
奥田昌史
前川健二
加護谷西美
笠原勝一
甲藤さち
加藤信吾
金澤 茂
久保田一穂
熊谷仁士
荻原亮司
小林照雄
小林利彰
小林亮子
阪本正彦
佐川聖二
佐々木真
塩谷しずか
篠崎 隆
菅野明彦
杉浦直基
鈴木一輝
曾根敬子
高野成之
武田英昭
田中真輔
千村雅信
十亀正司
豊山 悟
永井聖乃
中塚和良
中塚博則
中山 智
新澤義美
西依智子
西脇秀治
野村真直
馬場隆典
原田美保子
日野 奏
ペナンテ・
ボーマン
前田健一郎
松崎里絵
丸山正昭
三浦正信
宮原祐子
宮本直樹
宮本 睦
森みさ子
諸橋健久
渡辺 功
渡辺哲郎
渡辺裕子

【ハープ寄贈：環境ステーション株式会社】

☆ソロ首席奏者 ■客演首席奏者 ◎首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター
■本部長 □部長 ■シニアディレクター *研究員 準事務局員 ◆故人

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食は ご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

9/20 SAT.

東京オペラシティシリーズ 第147回

2025年9月20日(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.147

Sat. 20th September 2025, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

ジョナサン・ノット [指揮]

竹山 愛 [フルート]

荒木良太 [オーボエ]

森野美咲 [ソプラノ]

小川ニキティングレブ [コンサートマスター]

Jonathan NOTT, Conductor

TAKEYAMA Ai, Flute

ARAKI Ryota, Oboe

MORINO Misaki, Soprano

OGAWA Nikitingleb, Concertmaster

ハイドン:交響曲 第83番 ト短調

Hob.I:83(24')

I.アレグロ・スピリトソ

II.アンダンテ

III.メヌエット:アレグレット・トリオ

IV.フィナーレ:ヴィヴァーチェ

HAYDN: Symphony No.83 in G minor

Hob. I:83 (24')

I. Allegro spiritoso

II. Andante

III. Menuet: Allegretto - Trio

IV. Finale: Vivace

リゲティ:フルート、オーボエと

管弦楽のための二重協奏曲(17')

I.カルモ、コン・テネレッツァ

II.アレグロ・コレンテ

LIGETI: Double Concerto for Flute,

Oboe and Orchestra (17')

I. Calmo, con tenerezza

II. Allegro corrente

休憩(20')

Intermission(20')

リゲティ:歌劇「ル・グラン・マカーブル」より
「マカーブルの秘密」(9')LIGETI: "Mysteries of Macabre" from
"Le Grand Macabre" (9')

モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調

K.551「ジュピター」(35')

I.アレグロ・ヴィヴァーチェ

II.アンダンテ・カンタービレ

III.メヌエット:アレグレット

IV.モルト・アレグロ

MOZART: Symphony No.41 in C major

K.551 "Jupiter" (35')

I. Allegro vivace

II. Andante Cantabile

III. Menuetto: Allegretto

IV. Molto Allegro

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

●後援/ブリティッシュ・カウンシル、在日スイス大使館

楽曲解説はP.6をご覧ください



文化庁
Ministry of Culture

9/20 SAT.



©K. Miura

Jonathan NOTT

Conductor

ジョナサン・ノット
[指揮]

Music Director
音楽監督

東京交響楽団第3代音楽監督。イギリス生まれ。フランクフルトとヴィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマンド管音楽監督も務める。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、主要オーケストラ・音楽祭に客演。2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功勞勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」、毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ《サロメ》《エレクトラ》をベストコンサートに導く。レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、当団とは、これまでマラー、ブルックナー(第1・2・4・5・7・8・9番)、チャイコフスキー(第3・4番)などを録音。最新盤は、「ベートーヴェン:交響曲第3番&第8番」、(EXTON/OCTAVIAレーベル、2025年9月)。

2026/27シーズンからスペイン・バルセロナのリセウ大劇場音楽監督に就任する。

With his immense charisma and inspired programming drawing on a symphonic repertoire that extends from Schubert and Bruckner to Mahler and Shostakovich, and to the very edge of creation in the world of contemporary music, conductor Jonathan Nott shares his musical and human experience at the highest level. Jonathan Nott has been Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra since 2014. Together with the Tokyo Symphony Orchestra, he led 'Elektra' in concert style to the best concert in the 'Concert Top Ten' by Ongaku no Tomo Magazine and 'Salome' to the 'Best 10 Performances' by Mainichi Classic Navi as well as the Music Pen Club Music Prize in 2020. He began his career at the opera houses in Frankfurt and Wiesbaden where he conducted all major works of the repertoire including Wagner's complete Ring cycle. Jonathan Nott has an extensive and eclectic catalog of highly acclaimed recordings including works by Mahler, Bruckner, Tchaikovsky and Shostakovich with the Tokyo Symphony Orchestra on Octavia Records. From September 2026, he will become the Musical Director of the Liceu Barcelona Opera.

TAKEYAMA Ai, Flute

竹山 愛 [フルート] 首席フルート奏者

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ロームミュージックファンデーションの助成を得てミュンヘン音楽演劇大学Zertifikatsstudium Meisterklasseを修了。第79回日本音楽コンクール第1位(併せて岩谷賞)。第26回日本管打楽器コンクール第1位。第8回神戸国際フルートコンクール第3位など受賞歴多数。ソロアルバム「Plays Paris」「GATE」をリリースし、レコード芸術誌において共に準特選盤・特選盤に選出された。これまでにフルートを糸井正博、三上明子、金昌国、神田寛明、斎藤和志、木ノ脇道元、寺本義明、P.ブークリーの各氏に師事。東京藝術大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者を経て現在東京交響楽団首席奏者。



©N Ikegami

ARAKI Ryota, Oboe

荒木良太 [オーボエ] 首席オーボエ奏者

大阪府堺市出身。12歳よりオーボエを始める。大阪大学基礎工学部を卒業と同時に東京藝術大学音楽学部器楽科へと進学し、首席で卒業。現在同大学大学院修士課程在籍中。4年次在学中に東京交響楽団のオーディションに合格。これまでにオーボエを大島弥州夫、広田智之、吉井瑞穂、佛田明希子、和久井仁の各氏に師事。第37回日本管打楽器コンクール第1位ならびに東京都知事賞、文部科学大臣賞受賞。東京藝術大学にてアカンサス音楽賞、安宅賞受賞。2023年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。その他NHK-FM「リサイタル・パッショ」や霧島国際音楽祭、ARK PHILHARMONIC等に出演。またソリストとして藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演する。



©N Ikegami

MORINO Misaki, Soprano

森野美咲 [ソプラノ]

透明感のある歌声と幅広い演技力でヨーロッパを拠点に活躍する気鋭のソプラノ。ブラームス国際コンクール声楽部門日本人初優勝、日本音楽コンクール声楽部門優勝。ウィーン楽友協会でのコンサート、バーデン市立劇場「椿姫」題名役に出演の他、現代作品においての活躍もめざましく、ジュネーブ大劇場、ルツェルン劇場、ノイエ・オペラ・ウィーンでデビュー。国内では東急ジルベスターコンサート、プロ野球オールスター戦国歌独唱、NHKニューイヤーオペラ、題名のない音楽会等に出演。本年11月には歌曲の殿堂ピアニスト、ヘルムート・ドイチュとリサイタル開催予定。出光音楽賞、五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。岡山県出身、東京藝術大学卒業、ウィーン国立音楽大学修士課程首席修了。YouTube: Misaki's Channel



©Yuki Suwa

9/20 SAT.

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732~1809)

交響曲 第83番 ト短調 Hob.I:83

1760年代からハンガリーのエステルハージ侯爵家の宮廷楽長を務めてきたハイドンは侯爵家のための音楽を作曲してきたが、1780年になって外部の注文に応じることが多くなった。第82~87番の《パリ交響曲》はパリの「コンセール・ド・ラ・ロージュ・オランピック」という演奏会組織から交響曲の依頼で作曲され、1786年までに6曲がパリへ送られた。ハイドン自身はおそらく1787年のパリでの初演に立ち会うことができなかったが、1787年の末には既にウィーンで全曲の出版を行っている。

第1楽章は上行の動機と付点リズムによる下行動機を対比させた主要主題が、18世紀後半では稀な短調によるこの交響曲の激的な性格を露わにする。一方で、長調へ転じる副次主題は弦楽器のみで開始した後、おそらく《めんどり》の由来となった同音反復の付点リズムがオーボエに現れる。愉悦に満ちたこの主題は再現部でも顔を出し、あたかも冒頭の性格がなかったかのように、そのまま楽章終結へ誘導するのである。

第1楽章は同じ付点リズムが対比的な性格をもたらししたが、**第2楽章**では同音反復の動機が同様な役割を果たす。主要主題ではこの動機が模倣的に扱われるのに対し、副次主題では、緩徐楽章に不似合いな嵐の合間に挟まれる静寂の音楽(ヴァイオリンのみ)で顔を出し、楽章の基本性格から逸脱するユーモアの源泉となっている。

第3楽章のメヌエットは同一の動機が3拍目から開始する場合と、1拍目から開始する場合が混ざっており、それが聴き手を幻惑する。第1ヴァイオリンとフルートが主旋律を担当するトリオは弱音の明朗な世界。

第4楽章は、第1楽章を開始したト短調に回帰するとは思いきや、メヌエットのト長調を維持。しかも3連符のリズムが愉悦の響きを強めている。しかし、短調が少しだけ現れ、冒頭の性格が完全に捨て去られたわけではない点がハイドンらしいだろう。

さて、この曲を含む《パリ交響曲》は先述のように1787年にウィーンで出版された。その出版社はモーツァルトも懇意にしており、彼はハイドンからの影響を受けながら、最後の3曲の交響曲を書いたのであろうか。第83番のト短調はK.550と同じであり、第82番のハ長調は《ジュピター》でも使われているのである。

安田和信 Text by YASUDA Kazunobu

作曲: 1785年

初演: 1787年

編成: フルート、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、弦5部

ジェルジ・リゲティ(1923～2006)

フルート、オーボエと管弦楽のための二重協奏曲

《アトモスフェール》に代表されるジェルジ・リゲティ(1923～2006)の初期の作曲様式は、およそ1970年代頃から、徐々に新しいフェイズへと移行してゆく。

1972年に書かれた《二重協奏曲》はまさにその移行期真っただ中の作品。実際、やや大雑把な表現にはなるけれども、2つの楽章のうち第1楽章は60年代の作風の延長線で、そして第2楽章は80年代の作風を予感する様式で書かれている。

「協奏曲」と名づけられてはいるものの、この曲ではふたつの独奏楽器がアクロバティックに活躍するわけではない(実際、ベルリン・フィルによる初演では、楽団員であるカールハインツ・ツェラーとローター・コッホが独奏を担当した)。むしろ彼らはさまざまな微分音や微妙なリズムの出し入れといった技術を尽くして、縁の下の力持ちとしてオーケストラの響きを支えるのである。一種の逆転の発想というべきだろう。

まず「穏やかに、柔らかく」という標語を持つ第1楽章の冒頭では、変ホの音を核にしなから、響きが上下にゆっくりと音程を上げてゆく。この上にアルト・フルートの微分音、続いてオーボエの微分音が漂い、オーケストラによる音の雲を逆照射するというアイディア。全体にゆったりとした響きが続くものの、音楽が新しいセクションに進む際には、チェレスタやヴィヴラフォンといった金属打楽器が楔を打ち込むのが面白い。

一方、「流れるようなアレグロ」と記された第2楽章は、バス・フルートの独奏と、クラリネット属によるトレモロ音型で始まる。この音型は微妙にズレた周期で層を成し、立体的なクラスター(音塊)を形成。ミニマル音楽的な展開のなかで音色がさまざまに変化してゆくが、オーボエ独奏とイングリッシュホルンの並走をはじめとして、決して派手ではないけれども妙味のある聴きどころが次々にあらわれ、決して聴き手を飽きさせない。

沼野雄司 Text by NUMANO Yuji

作曲: 1971～72年

初演: 1972年9月16日ベルリン、カールハインツ・ツェラー(フルート)、ローター・コッホ(オーボエ)、クリストフ・フォン・ドホナーニ指揮、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

編成: 独奏フルート(アルトフルート、バスフルート持替)、独奏オーボエ、フルート3(ピッコロ持替3)、オーボエ3(オーボエ・ダモーレ持替1、イングリッシュホルン持替1)、クラリネット2(小クラリネット持替1)、バスクラリネット、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン2、トランペット、トロンボーン、グロックンシュピール、木琴、ヴィヴラフォン、ハープ、チェレスタ、弦3部(ヴィオラ、チェロ、コントラバス)

9/20SAT.

ジェルジ・リゲティ(1923 ~ 2006)

歌劇「ル・グラン・マカーブル」より“マカーブルの秘密”

好きなオペラは「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「ファルスタッフ」。しかし「トスカ」や「トゥーランドット」は耐えられない……。こんな発言から、リゲティのオペラ観がなんとなく伝わってこよう。さらに彼はオペラ史をワーグナー、シュトラウス、ベルクという路線とモンテヴェルディ、モーツァルト、ヴェルディという路線の2つに分けた上で、自らを後者に位置づけている。

リゲティは1978年、満を持して初のオペラ《ル・グラン・マカーブル》を発表した。死神ネクロツァールを中心にした「この世の終わり」をめぐるドタバタ劇だが、登場人物は極度に戯画化されており、それに併せて音楽もリゲティの作曲技術の粋を尽くした、奇妙でアイロニカルな響きに満ちたものになっている。なるほど、モンテヴェルディが現代に生きていたら、こんな曲を書いたかもしれない(?)。

“マカーブルの秘密”は、1988年、リゲティが厚い信頼を寄せる指揮者エルガー・ハワースが、全曲中でもっとも印象的な「ゲポポのアリア」を抜き出して独立した小品に仕立てあげたもの。当初はピアノとトランペット(あるいは声楽)という編成だったが、のちの92年にオーケストラ版が作られた。当然ながら、基本的にはオーケストレーションはリゲティのものを踏襲しているが、合唱部をうまく器楽に転じているあたりが、ハワースの手腕。

この曲は、しばしばオペラから「3部分を抜き出した」という説明がなされるが、実際には長大なアリア部から、他の登場人物の歌唱が中心になる2つの短い部分をカットしたもの、という方が正確だろう。秘密政治警察ゲポポ(もちろんこの名はナチのゲシュタポに由来しよう)が、暗号で秘密情報を伝える場面のアリアなのだが、歌われるのはほとんど意味をなさない語句の連なり。だが、曲はむしろ、その無意味さをエネルギーにして加速を続け、アクロバティックな声の超絶技巧をおよそ9分にわたって展開する。古今のコロラトゥーラ・アリアのパロディのようでもあるし、さらにいえば「現代音楽」のパロディでもあるのだろう。

沼野雄司 Text by NUMANO Yuji

作曲: 1992年(ハワースによるオーケストラ版)

初演: 1993年3月11日ボストン、リサ・サッファアー(ソプラノ)、ジョン・ハイス指揮、ニューイングランド音楽院現代アンサンブル

編成: ソプラノ独唱、フルート(ピッコロ持替)、オーボエ、クラリネット(バスクラリネット持替)、ファゴット(コントラファゴット持替)、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ティンパニ、小太鼓、大太鼓、トムトム、ボンゴ、シンバル、木魚、タンバリン、アンティークシンバル、カステネット、タムタム、マラカス、ギロ、スライドホイッスル、グロッケンシュビール、木琴、ウッドブロック、テンプルブロック、サンドペーパー、シグナルパイプ、警笛、ピアノ(チェレスタ持替)、マンドリン、弦5部

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756 ~ 1791)

交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

1788年の6月から8月にかけて、モーツァルトは続けて3曲の交響曲(K.543、550、551)を作曲した。結果的に最後の交響曲となった3曲は使用目的がわかっていない。「ジュピター」なるニックネームは作者者とは無関係で、19世紀になってから現れる(最古の使用例は1819年)。クラリネットを擁するK.543、短調を主調とするK.550とは異なり、当時の交響曲の一般的な調を採り、トランペットとティンパニを擁するK.551は交響曲で好まれた祝祭性や華麗さを前面に押し出しているが、その中で如何に多彩な性格の音楽を盛り込むことができるのか、その実験をしているかのような作品である

第1楽章は軍隊行進曲調とも言える勇壮な性格が中心を占める。だが、既に主要主題の中に柔かい弦楽器だけのフレーズが現れる点に象徴されるように、優美な旋律、ブッファ調のおどけたフレーズ(同時期のコミカルなコンサート・アリアK.541からの引用も)等、互いに対比的な性格の音楽が渾然一体となった楽章と言うべきだろう。

第2楽章は主要主題、副次主題ともに静謐さを基調とするが、悲痛な叫びやため息とも形容しうる音楽の挿入が強いコントラストを生む。

第3楽章は、主調の回帰をトゥッティで示すことの多いメヌエット楽章としては珍しく弱音、しかもヴァイオリンの2声部のみで開始する。全体的に半音階の動きが多用されるのも、風変わりな特徴に挙げられよう。トリオはいきなり終止形で始まったり、場違いな短調の炸裂が起きたりするなど、自然な文脈をあえて断ち切るユーモアが顕著。

第4楽章は対位法書法を活用したフレーズが随所に盛りこまれたソナタ楽章。バロックの様式や古い様式、あるいは教会様式によるフィナーレ自体は、当時にあって珍しいものではない。だが、主要主題を始める有名な「ド-レ-ファ-ミ」の動機(「ジュピター音型」と呼ばれることも)など、楽章全体で重要な役割を果たす5つの動機が、コードにおいて一つのフレーズの中で結合し、クライマックスを迎えるという方法は極めてユニーク。

安田和信 Text by YASUDA Kazunobu

作曲：1788年(『全自作品目録』の日付は8月10日)

初演：不明

編成：フルート、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

9/20SAT.

リゲティ：マカーブルの秘密 [歌詞対訳] 訳：三ヶ尻正 Text by MIKAJIRI Tadashi

Gepopo Chief (Soprano)

Psst!* Ps-psst! Ps-gps-psst!

Chorus (Instrumentalists)

Ps-ps-psst!

Gepopo

Shsht!

Co! Co-co!

Chorus

Kho!

Gepopo

Co-co-co-co! Co-co-co!

Co-co-ding zero!

O! Co-co-co-ding Zero:

highest security grade!

Chorus

Aha!

Gepopo

Zero, Zero!

Birds on the wing!

Chorus

Ch-ch-ch-ch-ch!

Gepopo

Double-you-see!

Snakes in the grass!

Rabble, rabble, rabble!

Riot, riot!

Chorus

Too-too-too-too-too-too!

Gepopo

Unlawful assemblies!

Chorus

Cha-cha-cha-cha-cha!

ゲポポの長官(ソプラノ)

プスト*[しっ]! プスプスト! プスプスプスト!

[*訳注:「静かに!」「しっ!」に相当する語]

一同(器楽奏者)

プス、プス、プスト!

ゲポポ

しーっ しっ!

コ! コ、コ!

一同

ッコー!

ゲポポ

コ、コ! コ、コ、コ、コ! コ、コ、コ!

コ、コ… コード・ゼロ!

おお! コ、コ、コード・ゼロ:

つまり最高水準の極秘事項だ!

一同

ハハーン!

ゲポポ

ゼロ、ゼロ!

トリが羽ばたいて来る!*

[*訳注:ドイツ語版では

「珍しい鳥が来る」=「聞いたこともない話だ」の意]

一同

チュ チュ チュ チュ チュ!

ゲポポ

ダブリュー・シー *! [*原注:WC=トイレ]

草むらの中のヘビ!

群衆、群衆、群衆!

暴動、暴動だ!

一同

トゥ トゥ トゥ トゥ トゥ!

ゲポポ

違法な集会!

一同

チャ チャ チャ チャ チャ!

Gepopo

Communal insurrection!
Mutinuous masses!

Chorus

Cha-chee-cho-choo-cha!

Gepopo

Turbulence! Panic!
Pa-a-a-a-a-pa-a-pa-a-pa-panic!
Groundless! Phobia!
Wide of the mark! Right off the track!
Hypopo- Hypo-o-o-o-o-o-po-o-o-o-o-o-
po-po-po-po-pa-ta
Hy-popo-chondri-ria!

Rrsh!

Chorus

What did you say?

Gepopo

Rrsh! March! March-t!
March target! Direction! rection! Direction!
Prince! Your Palace!
March target royal palace! Palace!

Password:
Go-go-go-go-lash! Go-golash!

Demonstrations, ha! Protestactions, ha!
Provocations, ha!
Pst! Pst!
Much discretion! Close observation!
Take precautions!

That's all!

Pst! Pst! Not a squeak!

Confidential!

One more thing :
Bear in mind: Silence is golden!

(no text, any vowels)

Secret cypher!
Codename: Loch Ness Monster!

ゲポポ

コミュニンの叛乱だ！
暴徒の群れだ！

一同

チャ チ チョ チュ チャ！

ゲポポ

騒乱だ！パニックだ！
パ、パ、パ、パニック！
根拠不明！恐怖！
的外れ！脱線！
ヒポポ、ヒポ、オ、オ、
ポ、ポ、ポ、ヒポボタ*… [*訳注:ヒポボタマス=かば]
ヒ、ポポ、ヒポコンドリ* [*訳注:心気症]

ルルルシュ！

一同

何だって？

ゲポポ

[*〔訳注:前進せよ、進軍せよ〕

ルルルシュ！ マーチ*！ マーチット！
進軍目標！ ホーコー！ …コー！ 方向だ！
王子さま！ あんたの宮殿だ！
進軍目標は王宮！ 宮殿だ！

合言葉は…
ゴー、ゴー、ゴー、ラッシュ、ゴー、ゴーラッシュ！
[*訳注:原作のオペラに「ゴーゴー」という名の貴族が登場している]
デモ行進か！ 抗議活動か！
挑発行動か！
プスット[しっ]！ プスット！
慎重に！ 厳重に監視しろ！
警戒態勢を取れ！

以上だ！

プスット[しっ]！ きしむ音ひとつでも出すな！

極秘事項だ！

もう一つ。
肝に命じよ:「沈黙は金！」と。

(歌詞のない箇所。任意の母音で。)

秘密の暗号！
コード・ネーム:ネス湖の怪獣！

9/20SAT.

Comet in sight! Red glow! Burns bright!

Chorus

Chu Chu Chi Chi Chu Chu Chi Chi!

Gepopo

Pst! Sit tight! No fright!

Yes! - No! - No! - Yes! -
No! No! - Yes! Yes! - No!
Beyond all doubt!
Satellite! Asteroid! Planetoid! Polaroid!
Coming fast! Hostile! Perfidious!
Menacing! Momentous! Fatal!

Stern measures! Stern measures! Stern measures!

Kukuriku! Kikeriki!
He is coming! Coming! Coming! Coming! Coming!

Kekerikeke! Kokorikoko!
Kukurikuku! Kakarikakaka!
Makarikaka! Makabrikaka! Makabrika!
Kabrikama! Brikamaka!
Kamakabri! Makabri! Makrabi!
Makrabey! Makrabey! Makrabey! Makrabey!
Makrabey! Makrabey! Makrabey! Makrabey!

Coming! Coming! Look there!
There! There! There!
He's getting in! He's getting in!
He's getting in! He's in!

Where's the guard? Where's the guard?
The guard!
Call the guard! Call the guard! Call the guard!
Call the gua't! Call the gua't!
Call the gua'! Call the gua'!
Call 'e gua'! Call 'e gua'!
Call guarda!
Da! Da! Da! Da! Ada! Ada! Ada! Ada!

Da!! Da!! Da!! Da!! Da!! Da!! Da!! Da!!!

Da Da Da Da Pssst!

Da.

彗星が見える! 赤く光る! 明るく燃える!

一同

チュ チュ チ チュ チュ チ チ!

ゲボボ

プスツ[しゅ]! じっと待て! 恐がるな!

そうだ! いや! いや! そう!
いや!いや! - そう!そう! いや!
疑いようもない!
衛星!小惑星! 亜惑星! ポラロイド!
すごい速さで来る! 敵として! 裏切り!
威嚇! 由々しき事態! 致命的!

嚴重対策を! 嚴重対策を! 嚴重対策を!

ククリク! キケリキ!
彼が来る! 来る! 来る! 来る! 来る!

ケケリケケ! ココリココ!
ククリクク! カカリカカ!
マカリカカ! マカブリカカ! マカブリカ!
カブリカマ! プリカマカ!
カマカブリ! マカブリ! マクラビ!
マクラーベ! マクラーベ! マクラーベ!
マクラーベ! マクラーベ! マクラーベ!

来る!来る! そこを見ろ!
そこ!そこ!そこ!
彼は入って来る!彼は入って来る!
彼は入って来る!もう入っている!

衛兵はどこだ?衛兵はどこだ?
衛兵だ!
衛兵を呼べ!衛兵を呼べ!衛兵を呼べ!
えいへ…を呼べ!えいへ…を呼べ!
えい…を呼べ!えい…を呼べ!
えい…呼べ!えい…呼べ!
衛兵 呼べ!
そこ!そこ!そこ!あそこ!!あそこ!!あそこ!!

そこ!!そこ!!そこ!!そこ!!そこ!!そこ!!そこ!!!

そこ!そこ!そこ!そこ!プススツ[しゅ]!

そこに。

9/27 SAT. 28 SUN.

第734回 定期演奏会

2025年9月27日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.734

Sat. 27th September 2025, 18:00 Suntory Hall

川崎定期演奏会 第102回

2025年9月28日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

Kawasaki Subscription Concert No.102

Sun. 28th September 2025, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall

ジョナサン・ノット [指揮]
 カタリナ・コンラディ [ソプラノ]
 アンナ・ルチア・リヒター [メゾソプラノ]
 ヴェルナー・ギューラ [エヴァンゲリスト(テノール)]
 ミハエル・ナジ [イエス(バリトン)]
 櫻田亮 [テノール]
 萩原潤 [バリトン]
 加藤宏隆 [バス]
 伊藤文嗣 [チェロ]
 福澤宏 [ヴィオラ・ダ・カンパ]
 大木麻理 [オルガン]
 栗田麻子 [オルガン]
 千田寧子 [オルガン]
 東響コーラス [合唱]
 三澤洋史 [合唱指揮]
 東京少年少女合唱隊 [児童合唱]
 長谷川久恵 [児童合唱指揮]
 小林孝成 [第1オーケストラ・コンサートマスター]
 景山昌太郎 [第2オーケストラ・コンサートマスター]
 字幕操作: Zimakuプラス
 字幕: ミケ尻正

Jonathan NOTT, Conductor
 Katharina KONRADI, Soprano
 Anna Lucia RICHTER, Mezzo Soprano
 Werner GURA, Evangelist (Tenor)
 Michael NAGY, Jesus (Baritone)
 SAKURADA Makoto, Tenor
 HAGIWARA Jun, Baritone
 KATO Hirotaka, Bass
 ITO Fumitsugu, Cello
 FUKUZAWA Hiroshi, Viola da gamba
 OHKI Mari, Organ
 KURITA Asako, Organ
 CHIDA Yasuko, Organ
 Tokyo Symphony Chorus, Chorus
 MISAWA Hirofumi, Chorusmaster
 The Little Singers of Tokyo, Children's Chorus
 HASEGAWA Hisae, Children's Chorusmaster
 KOBAYASHI Issey, 1st Orchestra Concertmaster
 KAGEYAMA Shotaro, 2nd Orchestra Concertmaster
 Subtitles operation: Zimaku Plus
 Subtitles: MIKAJIRI Tadashi

J.S.バッハ: マタイ受難曲 BWV244
 (字幕付き)(131')

第1部(第1曲~第29曲)(80')

休憩(20')

第2部(第30曲~第68曲)(100')

J.S.BACH: Matthäus-Passion BWV244
 (with Japanese Subtitles)(131')

Part1(No.1~29)(80')

Intermission(20')

Part2(No.30~68)(100')

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

●後援/川崎市(9/28)、「音楽のまち・かわさき」推進協議会(9/28)、在日スイス大使館、ブリティッシュ・カウンシル

●協力/ミューザ川崎シンフォニーホール[川崎市文化財団グループ](9/28)

ジョナサン・ノットのプロフィールはP.4をご覧ください。

楽曲解説はP.18をご覧ください



MUZA
 KAWASAKI
 SYMPHONY HALL



音楽のまちかわさき

Katharina KONRADI

Soprano

カタリナ・
コンラディ
[ソプラノ]



©23-Kopie-1-scaled

キルギス・ビシュケク生まれ。透き通るような歌声と卓越したテクニックで高く評価され、「ばらの騎士」ゾフィー、「リゴレット」ジルダ、「フィガロの結婚」スザンナなどで、その生き生きとした表現力と感情のニュアンスを巧みに表現した。ヨーロッパ各地の主要オペラハウスや音楽祭に出演し、ベルリン・フィル、バイエルン放送交響楽団、パリ管弦楽団といった一流オーケストラとも共演。2018年から2021年までBBC ニュー・ジェネレーション・アーティストに選出され、高い人気を誇り、多くの舞台で独特の存在感を示し続けている。

Katharina Konradi, born in Bishkek, is the first soprano from Kyrgyzstan to achieve international success in opera, concert, and Lied. Praised for her crystal-clear voice and dazzling technique, she brings vivid expression and emotional nuance to roles such as Sophie, Gilda, and Susanna. She performs at major opera houses and festivals across Europe and appears with leading orchestras including the Berlin Philharmonic, Bavarian Radio Symphony Orchestra, and Orchestre de Paris. A former BBC New Generation Artist (2018–2021), she is in demand for both operatic and concert repertoire and continues to shape a distinctive presence on the international stage.

Werner GURA

Evangelist (Tenor)

ヴェルナー・
ギュラー
[エヴァンゲリスト(テノール)]



ドイツ生まれ。ザルツブルクのモーツァルテウム音楽院で音楽教育を受け、フランクフルトとバーゼル歌劇場での活躍後、ドレスデン国立歌劇場のアンサンブルに入団。主にモーツァルトとロッシーニのオペラに出演し、好評を博した。世界各国の主要ホールにも招待され、フランス国立管弦楽団、バップバーグ交響楽団、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ウィーン交響楽団といった一流オーケストラと共演。リッカルド・シャイー、パブロ・エラース=カサド、マンフレート・ホーネック、ファビオ・レイジー、フランク・ウェルザー=メストや、故ニコラウス・アーノンクールとも頻繁に共演。

2009年からチューリッヒ音楽アカデミーで教授を務めている。

German tenor Werner Gura received his musical training at the Mozarteum in Salzburg. After appearing the opera houses in Frankfurt and Basel, he joined the ensemble of Semperoper Dresden, appearing mainly in Mozart and Rossini operas. He was subsequently invited to the Staatsoper Berlin, Opera de Paris, La Monnaie and the Opernhaus Zurich.

Werner Gura appears regularly on Europe's major concert platforms including Vienna's Konzerthaus and Musikverein, the Berlin Philharmonic, in Cologne and Paris, and at the Tonhalle Zurich, working with leading orchestras such as the Orchestre national de France, Pittsburgh Symphony and Vienna Philharmonic and Symphony orchestras. He performs with many conductors, including Riccardo Chailly, Pablo Heras-Casado, Manfred Honeck, Fabio Luisi, Franz Welser-Möst, and collaborated frequently with the late Nikolaus Harnoncourt. Werner Gura has taught at the Zurich Music Academy since 2009.

Anna Lucia RICHTER

Mezzo Soprano

アンナ・ルチア・
リヒター
[メゾソプラノ]



ドイツ・ケルン生まれ。その柔軟な歌声と表現力の深さが、国際的に高く評価されている。幅広いレパートリーを持ち、ウィーン・フィル、ロンドン交響楽団、バイエルン放送交響楽団といったオーケストラと、世界有数のオペラハウスで共演。カーネギー・ホール、ウィグモア・ホール、コンセルトヘボウなどでリサイタルも開催している。ドイツ・レコード批評家賞やオーパス・クラシック賞、ボルレッティ=ブイトーニ・トラスト賞を受賞し、Casa Hogar Deutschland e.V.の文化大使も務めている。イスラエル出身のタマル・ラフムに師事。

Anna Lucia Richter is a renowned mezzo-soprano celebrated for her vocal versatility and emotional depth. Her repertoire ranges from baroque to contemporary, featuring works by Bach, Schubert, Mahler, Berlioz, and Rihm. She has performed with top orchestras like the Vienna Philharmonic and London Symphony Orchestra, and at major venues including Carnegie Hall and Wigmore Hall. Her acclaimed recordings have received awards such as the German Record Critics' Award and Opus Klassik. She is a Borletti-Buitoni Trust Award winner and cultural ambassador for Casa Hogar Deutschland e.V. She is mentored by Israeli Professor Tamar Rachum.

Michael NAGY

Jesus (Baritone)

ミハエル・
ナジ
[イエス(バリトン)]



©gisela-schenker

ドイツ・シュトゥットガルト生まれ。豊かな表現力とドラマティックな深みのある声で知られ、国際的に高く評価されているハンガリー系のバリトン歌手。世界有数のオペラハウスや音楽祭で活躍し、「タンホイザー」ヴォルフラム、「パルジファル」アンフォルタス、「トリスタンとイゾルデ」クルヴェナール、「セビリアの理髪師」アルマヴィエーヴァ伯爵、そして「囚われの人」の主演など、重要な役を担ってきた。キリル・ペトレンコ、ダニエル・バレンボイム、サイモン・ラトルといった指揮者のもと、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ボストン交響楽団といったトップクラスのオーケストラと共演している。また、リート歌手として、オラトリオ歌手としても、世界各国で活躍している。

Michael Nagy, born in Stuttgart with Hungarian roots, is an internationally acclaimed baritone known for his vocal expressiveness and dramatic depth. He performs at leading opera houses and festivals worldwide, with key roles including Wolfram, Amfortas, Beckmesser, Kurwenal, Count Almaviva, Stolizius, and the title role in Il Prigioniero. In concert and opera, he collaborates with top orchestras such as the Berlin Philharmonic, Royal Concertgebouw, and Boston Symphony Orchestra under conductors including Kirill Petrenko, Daniel Barenboim, and Sir Simon Rattle. He is equally in demand as a lieder and oratorio singer on major international stages.

9/27 SAT. 28 SUN.

SAKURADA Makoto, Tenor

櫻田 亮 [テノール]

東京藝術大学卒業。同大学院修了後、ボローニャ音楽院に留学。ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)。国内外の古楽アンサンブルやオーケストラと多数共演の他、オペラの舞台でも活躍。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして海外ツアーや録音にも参加、バッハ「マタイ受難曲」メンデルスゾーン「エリヤ」等で好評を博す。CD「あなたはすべて私のものだったー17世紀イタリアの恋歌ー」リリース。東京藝術大学教授。二期会会員



©RibaltaLuce

HAGIWARA Jun, Baritone

萩原 潤 [バリトン]

東京藝術大学大学院修了。ハンス・アイスラー音楽大学で学び、Konzert-Examenを最優秀の成績で取得。二期会「ニュルンベルクのマイスタージンガー」ベックメッサーで注目を集め、以降、新国立劇場「魔笛」パパゲーノ、二期会「フィガロの結婚」伯爵及びフィガロ、「サロメ」ヨカナン等出演。バッハ・コレギウム・ジャパン創立時にメンバーとして多数出演の他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」等のソリストとして活躍。二期会会員



KATO Hirotaka, Bass

加藤宏隆 [バス]

東京藝術大学卒業後、ジョーンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院、インディアナ大学ジェイコブズ音楽院にて学ぶ。二期会「パルジファル」グルネマンツ、C.ミョンフン指揮「ファルスタッフ」ピストーラ、東京春祭R.ムーティ introduces《マクベス》パンコ等出演。バッハ「口短調ミサ」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」等宗教音楽の分野にも力を入れており、バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとしても多数出演している。二期会会員



FUKUZAWA Hiroshi, Viola da gamba

福澤 宏 [ヴィオラ・ダ・ガンバ]

オランダのデン・ハーグ王立音楽院卒業。2000年から2021年まで東京藝術大学古楽科非常勤講師。これまでにバッハ・コレギウム・ジャパンをはじめ、数々の古楽団体と多数共演。現在東海大学芸術学科非常勤講師。



©studio-mickey.com

MISAWA Hirofumi, Chorusmaster

三澤洋史 [合唱指揮]

国立音楽大学声楽科卒業。ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。1999年から5年間「バイロイト音楽祭」で祝祭合唱団指導スタッフの一員として従事。2011年、文化庁在外研修員として、ミラノ・スカラ座において合唱の音楽作りを研修。2016年JASRAC音楽文化賞受賞。今年3月まで新国立劇場合唱指揮者を24年間務め、現在新国立劇場桂冠合唱指揮者。グレゴリオの家宗教音楽研究所理事、京都ヴェルディ協会理事、日本ワグナー協会評議員。



Tokyo Symphony Chorus, Chorus

東響コーラス [合唱]

1987年に東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。2020年には第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「室内楽・合唱部門」を受賞。その実力は歴代の音楽監督にも信頼され、数多くの名演を残している。

●合唱指揮:三澤洋史

稽古ピアニスト:古瀬安子、清水 綾
発声指導:大沼 徹、高橋 淳、武内朋子、
辻 裕久、中山美紀

●委員長 岡 邦子 (Sop.)

●副委員長 鳥居順子 (Sop.)
垣花亜妙子 (Alt.)
奥貴壮史 (Ten.)
堀 浩史 (Bas.)

●パートリーダー

Sop. (正)遠藤由理 (副)佐藤由紀子
Alt. (正)水越睦美 (副)小林朋子
Ten. (正)内山誠彦 (副)枇杷高志
Bas. (正)水野 敬 (副)竹内誠治

●コーラス委員

Sop. 石井 恵、小野寺美和、増淵由佳
Alt. 岡本いつか、竹内あゆみ、鈴木みお
Ten. 菅野広和、木村 健、和田 敏
Bas. 北浦康勢、篠田一朗、仲 恭介

●第一コーラス

Soprano
内野英子
遠藤由理
小笠原美貴
小田切明子
川崎仁美
佐藤深雪
菅澤和美
鈴木美和
武田美香
鳥居順子
東原なお
平川暢子
藤沢富子
松本恵美
森本由希
山之内文子

奥秋和歌子
小名雅恵
垣花亜妙子
菊池万美子
木内道子
小張さゆり
高田恵子
谷野仁美
外山恭子
堀西香織
水越睦美
山下裕美
吉井久美子
和田真理

Tenor
五十嵐建平
大岡健史
小川 徹
菅野広和
小島岳登
伊藤弥緒乃
大島裕美子

中原裕幸
水谷晴彦
和田 敏

Bass

荒川雅人
岡野一哉
合田義弘
河野 愛
清水 達
竹内誠治
富岡 光
萩野 慎
早川克己
守谷隆一
柳谷一彦
矢野 通

●第二コーラス

Soprano
相田奈寿紀
石村友希子
大貫由香
岡 邦子
草野真由美
佐藤由紀子
鈴木育代
仁平朋子
平尾祥子
平田 菜
本行佳奈
武藤弘美
室井千晶
森田恵子
山津裕美

尾崎いづみ
尾田雅代
加藤由美子
小林朋子
露藤由紀
佐々木美登
須田真理子
清水穂名美
関口あずみ
辻 朱美
藤盛美恵
吉野辺園恵
渡邊史恵

Alto
甘利久美子
糸永怜奈
近江柚乃
岡橋麻衣
岡本いつか

Tenor

内山誠彦
大崎 純
奥貴壮史
木村 健
澤田 馨
竹本大祐
谷川 啓
名塩 優

嶋 大二
枇杷高志

Bass

浅香 勝
荒木康司
池上陽一郎
北浦康勢
木内正則
小山治彦
篠田一朗
杉山慎二
西村 真
花田和彦
水野 敬
山口 卓
山之内達也

HASEGAWA Hisae, Children's Chorusmaster

長谷川久恵 [児童合唱指揮]

東京少年少女合唱隊の芸術監督/常任指揮者。主催公演並びに海外公演を牽引する傍ら、国内外のオペラ・オーケストラの公演にてコーラスマスターを数多く歴任。混声合唱曲にも対応するグループ「コールスLSOT」や声楽アンサンブル「カンマーコア」を組織し、幅広い演奏活動を展開。国内外の合唱コンクールの審査員や合唱祭などで講師を務める。



©LSOT

The Little Singers of Tokyo, Children's Chorus

東京少年少女合唱隊 [児童合唱]

ヨーロッパの伝統音楽に基づく音楽教育を目的とする日本初の本格派合唱団として1951年設立。グレゴリオ聖歌から現代作品までレパートリーは幅広く、同声から混声までの合唱作品をカバーする。松平頼暁、一柳慧、細川俊夫等への委嘱作品も多く手掛ける。年2回の定期公演の他、1964年の訪米以来海外公演は34回を数える。国内外のオーケストラ、オペラ劇場との共演も多く、C.アバド指揮ベルリン・フィルをはじめR.ムーティ、F.ルイーゼとの共演では高い評価を得た。2021年に創立70周年を迎え、連続演奏会「70周年記念コンサートシリーズ2021-2023」を開催、最終公演をサントリーホールで実施。2024年5月に第34回海外公演を開催、ドイツ各地で5公演を実施。

9/27 SAT. 28 SUN.

J.S. バッハ(1685~1750)

マタイ受難曲 BWV244

宗教音楽史上の最高傑作として名高いバッハの《マタイ受難曲》。その圧倒的な規模、緻密な構成、魂を揺さぶる感情表現は、今なお聴く者を深く魅了し続けている。受難曲は、イエス・キリストの受難を描いた福音書の記事に基づく音楽であり、その起源は古代の受難週における受難記事の朗唱にまで遡る。ルターの宗教改革以降、ルター派の教会で受難劇が重視され、ドイツ語による受難曲が数多く作曲された。その頂点に位置するのが、バッハの比類なき傑作である。

まず注目すべきは、二重合唱と二重オーケストラという大規模な編成である。バッハはこの特徴を自ら強調しており、1720年代の初期稿を改訂する際、それまで一群だった通奏低音を二群に増やし、両合唱体の自律性を高めた。さらに最終稿のタイトルには「二重合唱のため」と明記している。

またこの曲を理解する上で重要なのがテキストに見られる三層構造である。第1層は、マタイによる福音書26章1節から27章66節までの記事であり、客観的な視点から受難物語が語られる。ルターによるドイツ語翻訳が使われ、福音記者(エヴァンゲリスト、テノール)、(イエス、バリトン)、そのほかの登場人物に振り分けられている。基本的には中世以来の伝統的な朗唱形式(レチタティーヴォ)に従うが、随所に繊細な音楽表現が施される。

第2層目は、ピカンダーによる自由詩で構成され、物語に対する内面的・感情的な応答を担う。ピカンダーの受難曲観はルター正統派神学者ハインリヒ・ミュラーの受難説教集と多くの点で一致しており、バッハもこの説教集を所蔵していたことから、この自由詩がピカンダーとバッハが共有していた当時のルター派神学に根差していたことを示す。バッハは修辞学的音型や器楽法を駆使し、「目に見える言葉の音楽化」を実現した。

中でも聴く者の心を強く揺さぶるのが、対を成す二つのアリアである。第39曲のアルト・アリア〈憐れみたまえEr barme dich〉は、「ペトロの否認」の場面で歌われる。イエスが捕らえられた際、教会の「岩」と名付けられた弟子ペトロは、恐れからイエスのことを知らないかと3度にわたって否定してしまう。このアリアではその深い後悔と悲しみを描き出しているが、それは単なるペトロの個人的懺悔にとどまらず、人間の弱さに直面する私たちの姿でもある。アルト独唱とヴァイオリン独奏が織りなす音楽は、痛切な悲しみの中に限らない美を湛えている。

第42曲のバス・アリア〈私のイエスを返せGebt mir meinen Jesum wieder〉は、イエ

スを裏切り、総督ピラトに引き渡したユダが後悔と絶望の末に自ら命を絶つ場面が続いて歌われ、ユダの悲痛な叫びが表現される。ヴァイオリンがオブリガードを担う点など第39曲と構造的な共通点はあるものの、音楽的にはまったく異なる性格をもっている。感傷的なアルト・アリアに対して、このバス・アリアは一貫して決然とした姿勢を貫いており、跳躍の多い力強い旋律によって、聴く者に強い意志と訴えを突きつける。

バロック・アリアの原則は、一つのアリアで一つの感情(情念)を表出することであり、アリアを通して物語が進んだり感情が変化したりすることはない。この「停滞」にこそ情念表出の極致があり、思わず感情的にならざるを得ない。

しかしバッハは聴衆をその感情的な揺らぎの中に取り残すことは決してしない。《マタイ受難曲》の核は、多層構造の第3層目であるコラールである。第1、2の合唱隊が合体した形で歌われ、さらに、その4声部を両グループの器楽が重複する。これらは受難物語の中に会衆の共同体としての応答をもたらす。

例えば、冒頭合唱曲の後、イエスによる受難の予言「人の子は、十字架につけられるために引き渡される」に引き続いて、コラール〈心からお慕いするイエスよHerzliebster Jesu〉が挿入される。この中の「これほど厳しい判決を言い渡されるとは何の罪ですか。」という歌詞は、イエスの言葉を聞いて弟子たち(あるいは私たち)が言ったと十分に想像のつく言葉であろう。このように、これほど早い段階でバッハは私たちを物語に引き込もうとしているのである。直前の「十字架に懸けられるだろう」というイエスの言葉は、非常に表情豊かでクロマティックな朗唱によって提示されるが、その強い表現性は、コラールの最後の2行における和声づけにも反映される。このコラール旋律はその後2度、この受難曲の中で用いられる。2回目は、イエスがゲッセマネにて祈っている際、3人の弟子と一緒に起きているように頼んだ後、罪悪感に苛まれたテノールの不安げなレチタティーヴォの間に、そして3回目は、群衆がバラバの釈放とイエスの磔刑を求め、「十字架にかけろ」と叫ぶ合唱の直後に置かれている。コラールはまさしくルター派キリスト教が重視したものであり、難解な曲の中でなじみある親しんだコラールが挿入されることでバッハと聞き手の接点を作り出した。またコラール旋律は繰り返し用いられることで、作品全体に統一感をもたらした。

《マタイ受難曲》は音楽的な完成度のみならず、神学的思索と深い信仰体験とが有機的に結びついた宗教音楽である。そのメッセージは時代を越えて私たちの心に深く響き続ける。

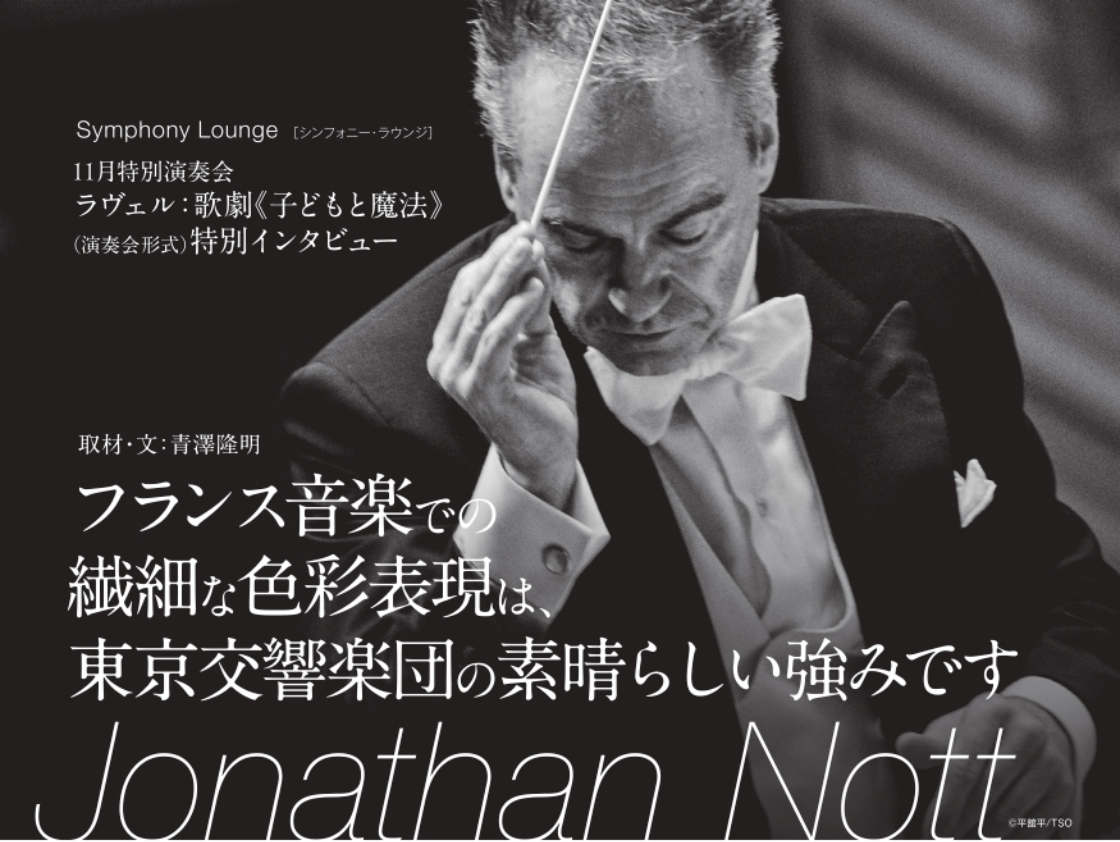
松橋輝子 Text by MATSUHASHI Kiko

作曲：1727年、(最終稿)1736年完成

初演：1727年4月11日(聖金曜日*)ライプツィヒのトーマス教会

*教会暦で、イエスの受難と十字架刑死を記念する日。復活祭前の金曜日。

編成：第1オーケストラ[フルート2、オーボエ2(イングリッシュホルン持替2、オーボエ・ダモアレ持替2)、ファゴット、オルガン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、弦5部]、第2オーケストラ[フルート2、オーボエ2(オーボエ・ダモアレ持替2)、ファゴット、オルガン、弦5部]、独唱(ソプラノ、メゾソプラノ、テノール2、バリトン2、バス)、混声合唱、児童合唱



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

11月特別演奏会

ラヴェル：歌劇《子どもと魔法》

(演奏会形式) 特別インタビュー

取材・文：青澤隆明

フランス音楽での 繊細な色彩表現は、 東京交響楽団の素晴らしい強みです

Jonathan Nott

©平瀬平/TSO

第二次世界大戦終結から80年目の夏。ジョナサン・ノットと東京交響楽団が「戦争レクイエム」で新たな名演を聴かせた。音楽監督として12年目、これが惜しむべきラスト・シーズンとなるが、彼らの音楽冒険はますます高みと広がりを見せている。

憐れみと理解に満ちたブリテンでのラテン語典礼文と英詩に続き、9月にはバッハの「マタイ受難曲」でドイツ語テキストを扱う。そして、11月にはラヴェルの《子どもと魔法》でフランス語を歌い、モーツァルトやR.シュトラウスで卓抜な成果を挙げてきたオペラ演奏会形式シリーズの掉尾を飾る。

「シーズン全体が“Song”というアイディアに結びついています。そして、私たち誰

もが歌をうたうように、それはとても包容力のある全方位的なテーマなのです」とノットは語り出した。

「歌にはふたつの志向性がある、いっぽうでは宗教的な歌の本質にいたります。また、歌にはさらに楽しむための要素があり、私たちはリゲティの『マカーブルの秘密』も演奏します。ラヴェルの《子どもと魔法》も歌のもつ包容力を示すのに絶好の作品で、まさに聴き逃せないオペラ体験となるはず。この物語には愛の要素が色濃く、また繊細な感受性が基調にありますから、日本の聴衆にはとくに訴えかけるところが大きいと私は思います。すべてのキャストに日本人の声楽家を迎え、二期会合唱団、にいがた東響コーラ

スと共演することも重要で、しめくくりのシーズンに相応しいセレブレーションの意義をもっています」

今年はラヴェルの生誕150年。そして、《子どもと魔法》はいまから100年前、1925年に初演された。コレットがもともと童話バレエとして構想した台本に作曲したオペラで、仏原題は「子どもと魔法にかけられたもの」という意味合い。わがままな少年が、他者の痛みに気づき、やさしさへ向けてふみ出す。ラヴェルの温かなまなざしや生命への慈しみが優美に結ばれた、詩的で愛すべきファンタジーだ。

「愛について言うならまず、子どもは女声が担いますが、あまり多くを語らないこの子が初恋を覚えるのは、壁にかけられた絵のお姫様なのです。それから、つがいの動物たちが自然の愛の証しとして登場しますね。そして、家具や物たちは壊されて傷つけられたのに、彼がリスの傷を手当てするのを見るや、とても素早く心変わりして、この子は大丈夫だと決める。つまり物語はふたつの層をもっていて、表面的には一種のエンターテインメントであり、深い次元では赦しや愛について、また母と子の関係について語りかけます」

登場するものたちも多彩なら、その音楽にもきわめて多面的なスタイルやイディオムが、ラヴェル一流の洗練味をもって精緻に息づいている。ジャズの影響もいち早くみられるし、アニメーションのように次々と新たなシーンが紡がれていく。

「多彩な音楽様式が採り入れられ、実に驚くべき響きをもった作品です。ただし、すべては非常に速く動いていきます。さまざまな動物やものが矢継ぎ早に登場し、多様な色彩を放っていく。色彩の精妙さは、ラヴェルは近代のモーツァルトではないか、と思えるほどに素晴らしい。書法は非常に聡明で、たとえば一種のワルツを採るときも、ラヴェルはきわめて洗練され、それでいて訴えかける力の強いハーモニーを用いています。この音楽には、あらゆる種類の美しいものたちが、万華鏡のようにちりばめられているのです」

ノットが東響から引き出すフランス音楽の響きには、特別に繊細で精妙な美がある。思えば2011年10月、最初の共演もラヴェル、「ダフニスとクロエ」全曲だった。ドビュッシーの「シレーヌ」と、シェーンベルクのピアノ協奏曲が組まれていたのも象徴的だ。「フランス音楽での繊細な色彩表現は、東響の素晴らしい強みとなり、室内楽的な感覚を大きく導き出すことにもなりました。私はこの機に最初のコンサートとの円環を完結したいと思い、ラヴェルのもうひとつの大作《子どもと魔法》を構想しました。本曲の色彩表現は魔法のようで、真の傑作と言えます。それに先立ち、私たちのそもそもの幕開けとなった『シレーヌ』に立ち返り、新たにデュリュフレの『3つの舞曲』という興味深い作品も採り上げます。きっと得がたい音楽の旅となることでしょう」

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N. Ikegami

ご芳名（敬称略）

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ
株式会社雅玖仁

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
税理士法人WATANABE

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N. Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(8月20日現在。五十音順)。

ご芳名 (敬称略)

個人会員

サークル50

伊藤 晴美
伊藤 美樹
沖田 陽子
鷺海 量明
木暮 紀子

澤田 秀雄
清水 尚彦
山口 積恵
山口 学
匿名 4名

サークル25

荒木 陽子
猪田 隆文
井上 孝昭
岡野 一哉
加藤 英輔
後藤 実

手塚 和彦
戸川 二郎
長瀬 雅則
平山 智史
山本 誠一郎
匿名 2名

サークル10

天野 佳和
五十嵐 建平
井澤 菜緒子
石川 晴依世
井上 千恵子
岩田 新
内山 誠彦
梅沢 麻衣
遠藤 秀和
大城 明幹
大崎 明子
大島 肇
太田 純子
大塚 具幸
大類 浩
岡 邦子
尾崎 茂
小野 久子
片山 泰輔
片山 千栄
金山 尚弘
金田 好生
木賀 賢市
菊池 光剛
木内 正則・道子
小林 光
古丸 健
近藤 和喜夫
斎藤 脩司
佐々木 真
佐野 利勝
清水 幹雄
白井 恭一
高澤 美貴子
高田 光宮
高津 麻子

高野 幸一
高島 琢己
高家 正行
田口 博
田中 忍
田中 啓一
谷藤 明雄
千葉 清
角田 隆・直子
中澤 守正
中村 豊
成瀬 倉祥
西谷 公男
橋本 純一
原田 美保子
アーネスト M. 比嘉
枇杷 高志
星 久人
増岡 聡一郎
三浦 尚弘
水越 睦美
満田 高久
峯岸 恭博
森 京子
森口 健
森口 優子
森下 国彦
森下 昭
山上 典彦
山口 重明
山本 明
古井 久美子
古村 美恵子
米岡 修一
匿名 15名

フレンド5

東 恭代
有江 純子
石原 祥子
潮田 伊織
大川 朋彦
大野 紀子
奥秋 和彦
加藤 政晴
河野 愛
小林 義彦
佐藤 信一郎
塩澤 誠司
高際 比呂志

寺西 基之
中尾 守
中島 信男
長谷川 泰弘
早川 利郎
松信 正志
村松 秀幸
山口 聡
山田 修造
山本 喜良
吉田 哲四郎
渡邊 純一
匿名 4名

フレンド3

秋山 真一郎
明田 重樹
荒 洋一
石澤 卓志
井上 聖恵
井上 聡
岩瀬 正明
大崎 純
大津 透
大塚 啓一
大塚 啓司
大塚 展男
大橋 昌資
小川 康恭
奥瀬 篤
奥田 桂子
小澤 俊文
尾島 夕里
小田切 明子
皆瀬 修
加香 雄一
加藤 由美子
兼子 伸彦
菊池 綾
菊池 伸治
木鋪 万裕
北川 洋
木下 盛弘
久保田 一穂
小木曾 孝
古杉 絢
小林 美智子
佐久間 明美
佐藤 悦子
佐藤 健司
清水 良枝
新保 和浩

杉田 弘也
須田 眞理子
関根 三善
竹内 あゆみ
田中 美貴子
田中 智広
都築 豊
中村 崇明
中村 元嗣
中村 幸雄
永井 洋一
浪川 淳子
成田 清美
西田 悦子
西田 尚弘
根本 直之
根本 暢明
野島 秀太郎
野島 美奈子
福田 昭夫
藤田 栄
今宮 美知子
今村 知子
今村 裕
岩澤 淳子
岩瀬 順子
岩野 裕一
上田 洋子
臼居 正昭
内海 重男
内田 誠
宇野 正芳
梅里 拓志
梅原 秀元
梅本 千枝子
瓜生 こずえ
江藤 祐子

和田 真理
匿名 29名

フレンド1

■あ
相磯 浩
青野 寛道
赤坂 住子
赤崎 述子
赤塚 節恵
秋元 淳志
朝倉 淳子
浅倉 文男
安達 郁夫
足立 めぐみ
穴水 幸子
阿部 浩子
阿部 靖彦
阿部 百合子
新井 祥一
生田 裕一
池田 利昭
池田 弘毅
石川 由紀
石渡 政徳
磯村 幸一郎
磯村 勉
伊藤 晴子
伊藤 宗功
伊藤 力雄
稲葉 順一
井上 康子
猪瀬 正
今井 聡
今井 由紀夫
今井 邦男
今宮 美知子
今村 知子
今村 裕
岩澤 淳子
岩瀬 順子
岩野 裕一
上田 洋子
臼居 正昭
内海 重男
内田 誠
宇野 正芳
梅里 拓志
梅原 秀元
梅本 千枝子
瓜生 こずえ
江藤 祐子

大川 剛
大越 貴志子
大嶋 孝義
大嶋 初彦
大嶋 康彦
大嶋 裕美子
大塚 賢久
大友 英司
大友 由香
大畑 喜信
大堀 慶裕
大森 幸吉
大八木 節子
岡田 政顕
岡田 正道
岡田 美穂
岡野 明徳
岡村 兵衛
小川 幾子
小川 徹
沖 知子
奥秋 和歌子
奥泉 亮子
奥田 由美子
奥貫 壮史
奥村 克彦
小倉 茂
尾崎 正美
小名 雅恵
小野 信也
小野 英樹
尾野 美和
小野塚 純二
■か
甲斐 幸士
海藤 慶子
香月 大樹
香月 和雄
方波 伸一
葛城 聖隆
加藤 里加子
加藤 善行
川名 康一
川野 安子
川之上 裕美子
菅野 広和
菅野 雄平
北野 雅子
北村 眞

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(8月20日現在。五十音順)。

木下 泰子
木下 亮平
木村 好一
木村 達央
木村 富士子
清田 一正
久保田 伸一
倉倉 宏樹
栗原 潔
小石 恵子
小泉 博
好士 崎
河野 太
国府 里美
国府 保周
小西 淳
小沼 敬四郎
小林 恭二
小林 宏州
小林 浩
小林 優大
小森 クミオ
小山 智代子
近内 光一
近内 友吏子
後藤 美穂
後藤 裕二
■さ
齋藤 ひろ子
齋藤 博
齋藤 有司
酒井 典子
坂本 タカ子
前刀 禎明
佐久間 昭宏
佐々木 紀明
佐々木 通博
佐々木 基
佐藤 幸子
佐藤 大助
佐藤 孜
佐藤 深雪
佐藤 美和子
佐藤 由紀子
重成 瞳
茂野 俊郎
穴戸 雅一
穴戸 一朗
篠田 俊也
柴橋 朋子
渋谷 宏明
清水 重夫
志村 崇

下田 和代
庄司 一彦
白石 大啓
杉山 次慎
鈴木 慎二
鈴木 啓介
鈴木 孝治
鈴木 隆之
鈴木 忠明
鈴木 美和
諏訪 幸恵
清水 達
清水 穂名美
關 翔太
關 二郎
関 洋
関口 あずみ
■た
高木 敏和
高木 晴彦
高木 洋二
高野 勝弥
高橋 美穂
高橋 有一
高橋 由美
高橋 ユリコ
高橋 里奈
高松 則雄
高森 幸男
竹内 聖子
竹内 真也
竹内 みお
竹内 竜太
武尾 和彦
竹腰 正隆
竹下 裕行
武田 大
多田 泰三
田中 敬子
田邊 禎二
田淵 泰弘
田部 正美
玉井 正浩
千田 晴久
塚田 和男
染館 玲子
津久井 淳
坪井 洋一
鶴岡 敬一
寺田 治男
東條 保子
遠山 淳夫
登原 明史

富川 泰雄
富田 博之
友近 圭祐
頼森 祥悟
豊島 峯生
鳥居 順子
鳥居 夕紀夫
■な
中沢 忠
中西 容子
中村 治人
長岡 秀成
長瀬 利明
永田 郁子
永浜 麗子
新倉 啓介
西岡 直実
西岡 昌紀
西川 晶
西川 陽子
西中川 淑子
西村 淳夫
西村 真
西村 由里子
西山 英昭
野口 信弘
野口 真有美
野村 一成
野村 真澄
■は
橋爪 千鶴子
橋本 和雄
橋本 憲人
長谷川 博
長谷川 真
早川 明男
林 欣吾
林 博子
林本 秀範
原 ひとみ
原田 慶子
春川 京子
坂東 泰子
肥後 恵子
檀谷 亜樹
平田 樹雄
廣瀬 泰文
廣中 直行
深沢 茂実
福崎 英和
藤田 鋼一
藤田 透
藤巻 綾子
古市 雄二

古川 郁子
古澤 美樹
古屋 清敏
宝屋 光樹
細川 由利子
堀 浩史
堀川 信子
■ま
牧口 光郎
真木 太郎
幕田 正司
樹井 明
松岡 秀樹
松澤 聡
松下 泰之
松本 繁
園尾 雅則
三神 隆
水野 弘
水谷 晴彦
三田 純子
宮川 悦子
三宅 雅之
宮坂 健司
宮崎 哲
宮崎 信夫
宮寺 昇
宮本 陽子
村上 誠司
村上 卓也
村本 信幸
村黒 京子
目黒 英一
森 里美
森島 政和
諸岡 喧子
■や
柳沼 美智子
山内 隆幸
山内 裕児
山縣 裕一郎
山岸 勇一郎
山口 あすか
山崎 純也
山田 美生子
山本 博
湯川 俊明
吉江 健志
吉岡 真紀子
吉田 昌敬
吉富 美紀
吉見 幸子
吉見 徹
米田 光
米谷 克幸

■わ
渡邊 朋子
C.S.
N.S.
T.Saito
匿名 134 名

■栄誉会員
ヨーコ・ナガエ・
チェスキーナ

遺贈・相続ご寄付(敬称略)

竹内 容子
齊藤公治メモリアル基金
牧野 季子
岡橋 純男
岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返ししますが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱い分のみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

安齋 優
東 由美子
星 直樹
前田 泉
山本 雅一郎
山本 淳一
匿名 12 名
(敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へお電話をお願いいたします。



<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。
そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典

詳細はHP、
又はお電話でお問合せ下さい

	法人会員	サークル会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 *1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 *2	○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分³⁾について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます⁴⁾

*4但し、各該法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただきます。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

柔軟性と協調性で信頼を集めるファゴッティスト

前関 祐紀

MAEZEKI Yuki

[ファゴット奏者]2016年入団

趣味:息子との昆虫採集



©N. Ikegami

ファゴットを始めるまで

中学校で吹奏楽部に入部し、最初はクラリネットを担当しました。3年生の時バスクラリネットも担当するようになったことで、隣で演奏するファゴットが少しずつ気になっていきました。高校入学後もクラリネットを続けていましたが、やはりずっと気になっていたファゴットも始められないかと、周囲に相談していたところ、話を聞きつけた見ず知らずのファゴット奏者から突然「ファゴットをやりたいなら楽器を買いに行こう!」と言われ、急遽一緒に楽器店に行くことになってしまいました。

クラリネットも購入したばかりだったので、戸惑いながらも楽器店に入店し、気づくと楽器の選定が終わり、クラリネットの約4倍もする価格のファゴットを購入してしまいました。帰りの電車内で、母にどう説明するか一緒に来た父と悩んでいたことをよく覚えています。こうして吹奏楽部は辞め、その奏者にファゴットを習い始めることとなりました。

すべてが突然で、勢いのままに進んでしまいましたが、結果的には良いきっかけになったと思っています。

東京交響楽団に入団するまで

東京音楽大学卒業後もオーディション、コンクール受験にと、演奏活動を行っていましたが、30歳を前にファゴットだけでは生活できないと感じ、演奏活動は細々と続けながら、父の仕事の関係もあり喫茶店を開店することとなりました。

そんな中でも大学の先輩であるファゴット首席奏者の福井さんは、東京交響楽団によくエキストラで呼んでくれ、少しずつ東響との縁ができていきました。

喫茶店経営はうまくいっていましたが、身体的負担も多く、このまま続けるべきか悩んでいた頃に東京交響楽団でオーディションがあり、これを最後にと意気込んで受けた結果、37歳で入団することができました。

遠回りをしましたが、前向きなオーケストラである東響という音楽の道に進むことができ、本当に良かったです。

コントラファゴットの魅力

他の楽器は作曲家によってこうでなければいけないという音色や吹き方を大体求められますが、コントラファゴットは自由度が高いからこそ、それぞれが思う吹き方、表現が出せると思います。自分なりの表現が東響の一部となって、お客様に届けばうれしいです。



息子との昆虫採集に向かう様子

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

評 議 員 就 任

2025年9月1日付

穴水 孝 ANAMIZU Takashi [T.A アドバイザリーオフィス 代表]

福島県生まれ。早稲田大学理工学部・同大学院卒業。東京ガス株式会社代表取締役副社長執行役員等を歴任。東京ガス管弦楽団長としてアマチュアオーケストラの運営に携わる。サキソフォン奏者として演奏活動も行っている。



楽 団 人 事

2025年9月1日付

景山昌太郎 KAGEYAMA Shotaro [第1コンサートマスター]

東京藝術大学を首席で卒業。同大学院在学中の2011年に渡独。マクデブルク歌劇場オーケストラの副首席奏者を経て、2013年から2025年までハーゲン歌劇場オーケストラ第1コンサートマスターを務める。ゲストコンサートマスターとして、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団等、多くのオーケストラに招かれる。ソロ、及び室内楽奏者として、尾高忠明、高関健、Anna-Maria Helsing、Joseph Trafton、ライブツィヒ弦楽四重奏団、フリッツ・ドレシャル、原田禎夫、ヨハネス・モーザー各氏等と共演。



©N. Ikegami

新 入 団

2025年9月1日付

吉田みのり YOSHIDA Minori [ヴァイオリン奏者]

退 団

2025年9月30日付

尾木貴雄 OGI Takao [財務本部・本部長]

・Report

音楽監督ジョナサン・ノット〈ラストシーズン ファン・ミーティング〉

7月21日定期演奏会終了後、サポート会員限定イベントとして、<ジョナサン・ノット ラストシーズン ファン・ミーティング>をアークヒルズ・カフェで開催しました。いつも演奏会を聴きにいらしてくださるファンの皆さんと直接お話をしたいというノット監督からの強い希望で実現した企画。皆様への事前アンケートでの印象に残った演奏会第1位は「エレクトラ」でしたが、監督自身は「ばらの騎士」を挙げました。また「タイムスリップして会ってみたい人は?」という質問には、「自宅が近かったエドワード・エルガー。それにマーラー、ガリレオ・ガリレイにも会ってみたい。」など、楽しい答えが返ってきました。各テーブルを回っての交流タイムでは、会話がはずんで時間が足りなかったほど。最後は参加者から感謝状とノット監督が大好きなワインが贈られ、和やかに会はお開きとなりました。



NEXT PROGRAM

10/4 東京オペラシティシリーズ 第148回 (土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

指揮: 大友直人
ギター: ティボー・ガルシア
ブラームス: 交響曲 第3番
ロドリゴ: アランフェス協奏曲
ラヴェル: ボレロ

S¥7,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500



©Rowland Kirishima

10/11 第735回 定期演奏会 (土) 18:00 サントリーホール

指揮: スザンナ・マルッキ
ベートーヴェン: 交響曲 第6番「田園」
ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」

S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000



©Jiyang Chen

10/18 川崎定期演奏会 第103回 (土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮&ヴァイオリン: 佐藤俊介、フルート: 竹山愛(東響首席)、濱崎麻里子(東響奏者)
オーボエ: 荒木良太(東響首席)、最上峰行(東響奏者)、浦脇健太(東響奏者)
ファゴット: 福井威(東響首席)
ホルン: 上間善之(東響首席)、加藤智浩(東響奏者)、チェンバロ: 重岡麻衣

フックス: ロンド 八長調

フレミング: 完全なるドイツ独師より“ファンファーレ”

J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第1番

J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第5番

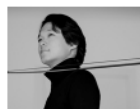
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第3番

テレマン: 2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲

J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第4番

S¥7,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500 P¥3,000

※当初の予定より、曲順が変更となりました。



©Marco Borggreve

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511(平日10:00 ~ 18:00 / 土日祝休)

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュウザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市83公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年オペラ・バレエ放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。

桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。



The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. Elektra in Concert Style(2023) won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of Salome in Concert Style(2022) on Ongaku no Tomo magazine. Der Rosenkavalier in Concert Style (2024) concluded the finale of R. Strauss project with a great acclaim. They won the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 80 concerts in 59 cities since 1976. Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 as Toho Symphony Orchestra, and changed its name to Tokyo Symphony Orchestra in April 1951, and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

Symphony

Symphony 2025年(令和7年)9月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュウザ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネススクリエイト